



楽し、たのし！進む、すすむ！励む、はげむ！

われらの弦巻中学校

学校だより発行日 令和7年 6月27日

第3号 世田谷区立弦巻中学校長 加藤ユカ



記憶に残る創立70周年体育大会

校長 加藤ユカ

2回に渡り延期した創立70周年体育大会が、6月5日（木）に無事に紺青の空のもと開催することができました。保護者・地域の皆様には、平日開催にもかかわらず、多数お越しいただき、本当にありがとうございました。さて、今年の体育大会はどうでしたか。今までと違ったプログラム。まさに、『限りある校庭を駆け抜けろ！優勝めがけていざ、Let's go体育大会』をスローガンに、子ども達の笑顔溢れるアットホームな体育大会になったのではないのでしょうか。生徒の感想にも「楽しかった!!」と感じた生徒が多く、全力で頑張る弦中生だからこそ生まれた「楽しい気持ち」が「やさしいっばい弦巻中」+「楽しさいっぱい弦巻中」の体育大会を実現させました。



毎日昼・放課後練習を頑張った応援リーダーの皆さん。本当にお疲れさまでした。取り壊される校舎、新しく出来る仮校舎に挟まれて、弦巻中70周年を力の限り応援してくれました。本当に素晴らしかったです。（涙）古い校舎もみなさんの応援する姿をととても喜んでいと思います。限られた校庭に合わせて一新した競技「障害物リレー」「心を合わせてリレー」も全校生徒で取り組んだ「全校対抗大縄跳び」そして、クラス対抗全員リレーも全力で笑顔いっぱい取り組みました。1年生の全員リレーでは、I組+2・3年生選抜も加わり、校庭を駆け抜けました。選抜リレーも1年生、2年生と成長していく弦巻中の姿。3年生の選抜リレーは圧巻でした。3年間で、心身ともにこんなにも成長するのだという姿を見せてくれました。午後の「借り人競走」は、生徒会本部役員が、何日もかけて考え、準備してくれました。生徒会活動は、自分たちで自分たちの学校生活をより良くしたい、より豊かにするということを考えて活動しています。生徒会競技の実現は、長年の生徒会本部役員の悲願でした。その気持ちがつながり、実現できたこと、そして、思いっきり頑張る生徒たち、楽しむ生徒たちの姿を見て弦中生は本当にすごいなと思いました。今年の体育大会は、弦中生にとって、かけがえのない唯一無二の記憶に残る体育大会だったと思います。

平日にも関わらず、たくさんの保護者・地域の皆様にお越しいただきありがとうございました。暑い中でしたが、子どもたちへの熱い熱い声援ありがとうございました。頑張る原動力になっていました。土曜日の天候が不安な中での開催について、開催するか延期にするか、最後の最後まで悩んだ末での決定でした。アンケートで、中止の決定をもっと早く欲しかったとご意見をいただきました。弦和会の役員、係の皆様には、朝早くからご準備をしていただき、また、せっかく足をお運びいただいたにも関わらず中止にしてしまったこと本当に申し訳なかったです。また、平日開催について「日曜日の開催にしてほしい。」「なぜ日曜日開催にならないのですか」「小学校の土曜日授業とかぶっていた」とのご意見や質問をいただきました。この時期の中学校は、中体連の夏季大会の試合が日曜日に開催されます。なので、日曜日の実施が難しいのです。また、優郷の学び舎小学校とは、年間行事を決めるときに行事が同じ日にならないように調整をしています。昨年度は、弦巻小学校の運動会が秋に開催されることになり、弦巻中の学芸発表会と同日になってしまい、保護者の皆様にご迷惑をおかけしたので、今年は、そのようなことがないように開催日の調整をしました。土曜授業日については、なかなか学校の状況もありますので、その限りではなかったです。2回の延期にも関わらず、先生たちが準備が大変だったのでは、ありがとうございました。」とねぎらいの言葉を多々いただきました。ありがとうございました。



来年度は、校庭もさらに狭くなり、令和10年度まで体育大会の実施について学校で実施できないことを予想して、現在検討中です。コロナ禍でも行事については、子どもたちの安心・安全を一番に、なるべく工夫して実施してきました。学ぶ機会を止めない！！精神は続いています。どんな形にか

かわかりませんが、今いる保護者の皆様は、ご理解の上、ご協力いただければ幸いです。

子どもたちは、期末考査を終えて、3年生は、7月3日～2泊3日の修学旅行に行ってきます。最後の事前学習に取り組んでいるところです。生徒会役員とI組代表生徒が「平和宣言」を作成中。途中経過を見せてもらいました。3年生の一人一人が心に留めて、この2年間の『人権・平和』について学んだことを生かして、現地で実際に『見て、感じて、考えて』これからの社会の創り手として、未来に向けて「何を大切に生きていくか」深く深く考え、考えたことを心に刻んで行動にし、誰にとっても民主的で平和な社会を創って欲しいです。それも、戦後80年の「広島」「大阪万博」等を訪れる私たちの責務であると思います。修学旅行の報告を待っています。そして、1・2年生は、2学期に行われる河口湖移動教室や職場体験、学芸発表会など、自分たちを成長させてくれるたくさんの行事があります。その準備に全力で力を出してください。



開会式の言葉

体育大会実行委員長

ついにこの日がやってきました。土曜日も、火曜日も、雨で延期になっちゃったけれど、今日は快晴で体育大会を開催することができ、とても嬉しいです。私は、体育大会は勝ち負けも大切だけど、それ以上に全力で楽しむことが大切だと思っています。競技も応援も、そして楽しさも全力を出していきましょう。そして忘れてはいけないのは、感謝です。準備を手伝ってくれた実行委員や係のみんな、先生方、そして今日も朝ごはんを用意してくれた保護者の皆さん。そんな方々の協力があるからこそ、今日という日を無事に迎えることができました。本当にありがとうございます。うまくいかないこともあるかもしれないけど、そんなときは仲間の声がきっと力になります。みんなで盛り上げて最高の体育大会にしましょう！



体育大会を終えて

体育大会実行委員長 沼田 駿

当初予定していた5月31日(土)より、2回の延期を経て6月5日(木)、晴天のもと令和7年度体育大会を無事開催することができました。延期に伴い、予定変更などでご不便をおかけしたにもかかわらず、多くの保護者・地域の皆様に参観いただき、ありがとうございました。

今年度は、校舎改築・改築の影響で校庭が以前の半分の広さとなってしまう、この校庭でどうやって体育大会を行うのかを考えるとところから始まりました。狭くなってしまったことで、できなくなってしまう競技もあることから弦中の伝統を継承しつつ、来年度以降にもつながるよう、実施競技の変更を行いました。

各学年の目標として、まずは「全力」で取り組むこと、そのうえで、3年生には「弦中の高い基準を示すこと」2年生には「3年生を超える働きをすること」1年生には「全力で取り組み、クラスで協力すること」を目標とし取り組みました。どの学年も体育大会当日の姿を見ると目標を達成したように思いました。

2回の延期を挟んだことで、生徒の気持ちの盛り上がりが冷めてしまわないかと心配をしておりましたが、どの学年も生徒はやる気に満ち溢れていました。コーナーがきつくなってしまうトラックを工夫して走る姿、クラスの仲間と心を合わせて前に進む姿、クラス全員で息を合わせて跳ぶ姿、どの競技にも全力で取り組む姿がとても印象的でした。

また、係の生徒たちも、準備から当日の係活動まで昨年度までとは勝手が違うなかでもそれぞれの役割を責任をもって果たしました。特に体育大会実行委員は、自分たちが中心となって動くという意識が強く、クラスでの選手の調整や学年練習、全校練習の運営など様々な場面でクラスや学年、学校のために働いてくれました。

狭くなった校庭、延期というハプニングがあつての開催となりましたが、生徒たちにとっては例年よりも思い出深い行事になったのではないかと思います。

第70代応援リーダーが生み出した情熱と感動

応援団担当 清水 大地

今年の体育大会は、創立70周年の記念すべき大会となりました。校舎改築の関係で、例年の体育大会とは内容を変えての実施となりましたが、その大会を競技と共に大いに盛り上げてくれたのが応援リーダーでした。

体育大会前の2週間、応援リーダーは昼休みになると毎日、格技室や体育館に集まり、各団の応援や演舞の練習を重ねました。昼休みだけでなく、放課後にも集まって練習を行う日も多くありました。団ごとの個性あふれる応援は、応援リーダーが内容を1から企画し、練習に励んだ努力の結晶です。応援団全体での演舞練習に励む姿勢は、まさに体育大会にかける情熱そのものでした。



本番では、練習の成果を存分に発揮し、グラウンドに響き渡る大きな声と、息の合った応援で、選手たちに勇気を、観客に感動を与えてくれました。そして、70周年という節目に新たな伝統をつくってくれた気がします。70周年記念体育大会にふさわしい、素晴らしい応援を披露してくれた応援リーダーの皆さん、本当にありがとう。第70代、応援リーダーを先生はこれから先も忘れないです。

戦後80年 沖縄「慰霊の日」に想う

戦後80年の「慰霊の日」を迎えた6月23日。沖縄県内各地は鎮魂と平和を願う祈りに包まれました。沖縄戦最後の激戦地となった糸満市摩文仁の県平和祈念公園では、今年も沖縄全戦没者追悼式が行われました。毎年、慰霊の日に向けて「平和の詩」が募集されます。今年は、地上戦を生き延びた体験者の孫の豊見城市立伊良波小学校6年の城間一歩輝(いぶき)さん11歳が平和の詩を朗読しました。85歳の祖母が一年に一度だけ、歌うという「おばあちゃんの歌」の意味を知った時の思いをつづり「命を奪い苦しめる戦争を二度と起こさない」と宣言しました。

祖母が歌っていたのは「艦砲め喰え一残さー(艦砲射撃の食べ残し)」。激しい地上戦が繰り返され、住民の4人

に1人が命を落とした沖縄で生き残った人のことを指す言葉だそうです。泣きながら歌った後に「あの戦の時に死んでおけば良かった」といつも口にし、その時に城間さんも悲しくなったといいます。詩には、戦争が終わったことも知らず家族と防空壕に隠れ続けて、米軍が壕に投げ込んだ手りゅう弾で大けがを負った祖母の体験をつづりました。一緒にいた祖母の弟はけがで亡くなったそうです。戦後80年がたっても癒えない心と体の傷。それでも生き続け、孫の自分へと命をつないでくれたことに感謝し「おばあちゃんから聞いた戦争の話を伝え続けていく」と誓いました。

【平和の詩「おばあちゃんの歌」全文】



毎年、ぼくと弟は慰霊の日に おばあちゃんの家に行って仏壇に手を合わせ
ウートーをする

一年に一度だけ おばあちゃんが歌う

「空しゅう警報聞こえてきたら 今はぼくたち小さいから

大人の言うことよく聞いて あわてないで

さわがない で 落ち着いて 入っていきましょう防空壕」

五歳の時に習ったのに 80年後の今でも覚えている 笑顔で歌っているから 楽しい歌だと思っていた
ぼくは五歳の時に習った歌なんて覚えていない

ビデオの中のぼくはあんなに楽しそうに踊りながら歌っているのに

一年に一度だけ おばあちゃんが歌う「うんじゅん わんにん 艦砲ぬ くえーぬくさー」

泣きながら歌っているから悲しい歌だと分かっていた

歌った後に「あの戦の時に死んでおけば良かった」と言うからぼくも泣きたくなった

沖縄戦の激しい艦砲射撃でケガをして生き残った人のことを

「艦砲射撃の食べ残し」と言うことを知って悲しくなった

おばあちゃんの家族は戦争が終わっていることも知らず 防空壕に隠れていた

戦車に乗ったアメリカ兵に「デテコイ」と言われたが 戦車でひき殺されると思い出て行かなかった

手榴弾を壕の中に投げられ おばあちゃんは左の太ももに大けがをした

うじがわいて何度も皮がはがれるから アメリカ軍の病院でけがをしていない右の太ももの皮をはいて

皮ふ移植をして何とか助かった でも、大きな傷あとが残った

傷のことを誰にも言えず 先生に叱られても 傷が見える体育着に着替えることが出来ず

学生時代は苦しんでいた

五歳のおばあちゃんが防空壕での歌を歌い 「艦砲射撃の食べ残し」と言われても

生きてくれて本当に良かったと思った おばあちゃんに生きていてくれて本当にありがとうと伝えると

両手でぼくのほっぺをさわって

「生き延びたくとう ぬちぬ ちるがたん」生き延びたから 命がつながったんだね

とおばあちゃんが言った

80年前の戦争でおばあちゃんは心と体に大きな傷を負った その傷は何十年経っても消えない

人の命を奪い苦しめる戦争を二度と起こさないように

おばあちゃんから聞いた戦争の話を伝え続けていく

おばあちゃんが繋いでくれた命を大切に 一生懸命に生きていく

この詩を声に出して読んでみました。溢れる涙を止めることができませんでした。80年たっても心と体の傷は消えない。艦砲射撃の種残し、あの戦いの時に死ねばよかったと思うこと…。おばあちゃんに限らず、同じ思いの人たちがたくさんいます。3年生は、昨年に見た「」ビデオで被爆者のお話の中で、家族や多くの同級生を亡くして「なぜ自分だけ助かったのだろうか？」と悔やんでいる人がいました。戦争だけではなく、災害等でもそんな思いで生きている人たちはいます。その思いを想像できる人でありたいと思います。

図書室と連携した世田谷文学館出張展示「どこでも文学館」：「やなせたかし・アラビアンナイト」

今年の世田谷文学館出張展示は、朝の連絡テレビ小説『あんぱん』にちなんで「やなせたかし」にしました。みなさんもう見たり、読んだりしましたか。（もうすぐ終わってしまいます）

『あんぱん』は、逆転しない正義を具現化した『アンパンマン』の原作者・やなせたかしさんとその妻・小松暢さんがモデルとされるドラマです。やなせたかしさんが描いた『アンパンマン』には、やなせたかしさんの思いが込められています。戦争体験から生まれた「正義とは何か」という問いと、困っている人を助けたいという強い気持ちです。特に、アンパンマンというキャラクターには、自分の食べ物を分け与えることで相手を助けるという、自己犠牲的な「本当の正義」が込められています。



やなせさんは、戦争で正義が簡単に変わることを経験し、本当に大切なものは何かを考えました。そして、お腹をすかせている人に食べ物を分け与えることが、最も純粋な正義だと考えたのです。アンパンマンは、自分の顔を分け与えることで、相手を助け、喜ばせることができます。これは、自分を犠牲にしても他人を助ける、真のヒーローの姿を表しています。

やなせさんは、アンパンマンを通して、子供たちに「本当に強いヒーローは、自分以外の誰かのために自分をさげられる人」というメッセージを伝えたかったのだと思います。また、やなせさんは、アンパンマンが「世界で一番弱いヒーロー」であると語っています。これは、弱さや困難を抱えながらも、他者を思いやり、助けることの大切さを表しています。

やなせさんの作品には、このような深い思いが込められており、多くの人々に感動と勇気を与えています。「優しいさいっぱい弦巻中」の目指すものと、共通するものがたくさんあると思います。

令和7年度 第1回学校協議会・第2回学校運営委員会開催 6月17日（火）

～「今後の区立小・中学校地域運営学校を支える仕組みの考え方」について～

第1回学校協議会を6月17日（火）に開催しました。学校協議会では、弦巻町会の新会長をはじめ、青少年委員、民生児童委員、関係諸機関、連携保育園、学校運営員、関係者評価委員等、約20名の皆さまにご出席いただきました。学校・保護者・地域と連携して、子どもたちの健全育成、地域防災等について、情報を共有しながら、地域の子どものために何ができるかを一緒に考え、取り組んでいく組織です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



また、今年度は、世田谷区教育委員会より、「今後の区立小・中学校地域運営学校を支える仕組みの考え方」について提案があり、お伝えしました。今ある4つの組織（学校運営委員会、学校支援地域本部、学校協議会、学校関係者評価委員会）について、学校、地域双方の負担軽減を図ることを目的に、仕組みを見直していくとのことです。新しい仕組みについて、ご意見がございましたら7月18日（金）までに、ご提出くださいとのことです。忌憚のないご意見をお寄せください。保護者の皆様には「すぐる」で配信しました。お読みください。

新しい仕組み…どうなることやらですね。

<今後の予定> ※人権教育の一環として、毎月人権に関わるカレンダーを掲載します。

7月・8月の予定		今月の予定（6月）	
7月	1日（火）避難訓練 3日（木）～5日（土）修学旅行（3年・3I） 7日（月）振替休業日（3年・3I） 9日（水）～11日（金）学校公開期間 11日（金）保護者会（全）進路説明会（3年） 学級懇談会 12日（土）松丘小緑陰子ども会 16日（水）インクルーシブ教育研修会 17日（木）大掃除（引っ越し準備） 18日（金）終業式 選挙準備（午後6時半～） 20日（日）参議院選挙 22日（火）～28日（月）教育相談	6月	2日（月）振替休業日 人権擁護委員の日 3日（火）専門委員会 体育大会予備日 4日（水）生徒会朝礼 世中研（教科） 5日（木）体育大会予備日 6日（金）避難訓練 9日（月）引っ越し業者説明会 10日（火）安全指導 11日（水）歯科検診（全）世中研（領域） 13日（金）セーフティ教室・意見交換会 17日（火）学校協議会・学校運営委員会 18日（水）職員会議、学び舎主任会 19日（木）校内研修会 21日（土）東弦巻保育園運動会（体育館） 22日（日）都議会議員選挙 23日（月）沖縄「慰霊の日」 23日～29日 男女共同参画週間 23日（月）～25日（水）期末テスト 25日（水）専門委員会・組進路説明会 松丘小緑陰子供会ボランティア説明会 水泳部プール開き 26日（木）水泳指導始まり 生徒会朝礼 歯科講話（I組・1年） 27日（金）連合球技大会（I組） 復習確認テスト（3年）
7月	社会を明るくする運動～犯罪・非行を防止し、立ち直りを支える地域の子カラ～強化月間・再犯防止啓発月間		
8月	全国一斉「子どもの人権110番」強化週間		
8月	13日（水）～17日（日）学校休業日 20日（水）～26日（火）引っ越し作業 21日（木）けやき広場「子ども大会」 22日（金）音楽発表会 28日（木）ビブリオバトル		
毎月10日 あいさつ・声かけの日			

<本校のホームページをご覧ください。 <http://school.setagaya.ed.jp/ttsuki/>>

学校日記は携帯電話からもアクセスできます。右のQRコードが携帯サイトです。

携帯サイトは、緊急のご連絡を掲載することもあります。ご利用ください。携帯では通信費がかかります。今年度も、「優しいさいっぱい弦巻中」のHPを充実させてまいります。よろしくお願いします。

